

〔花き類の新品種導入および品種改良〕
芳香性シクラメンの育苗条件並びに施肥管理

吉岡孝行・渋澤直恵
(園芸部)

【目的】

2000年に選抜した芳香性シクラメンは、出葉や開花、香気成分などの特性が明らかになり、新しいタイプのシクラメンとして期待が大きく、来年度、生産者代表による栽培調査が計画されている。そこで、馴化効率、育苗ポットの大きさ、生育ステージ別の施肥管理のあり方等を明らかにし、現場での技術マニュアルの資とする。

【試験方法】

調査1・培養苗の馴化効率 10月25日、寒天培地で育てた‘系統3’を供試のメトロミックス350とプロミックスBXを充填した98穴セルトレイに移植し、移植後1週間はべたがけ資材(商品名パオパオ)で覆った。最低夜温14℃に設定、培養土の違いが馴化苗の生存率及び生育に及ぼす影響を調べた。

調査2・育苗ポットの大きさ 5月29日、供試の育苗ポリポット(2.5号、3号、3.5号)に鉢替えした。鉢用土は赤土：腐葉土：ピートモス＝4：4：2を体積割合に混合し、元肥にBM溶リン5g/L、過磷酸石灰2g/Lを混用した。6月17日、プロミックス小粒1粒/株を置肥し、7～10日毎に液肥(20-20-20)の50ppm液200ml/株を施用、育苗ポットの違いが‘系統3’の生育に及ぼす影響を調べた。

調査3・液肥濃度 春(5月29日～7月16日)と夏(7月16日～9月21日)及び秋冬(9月21日～12月3日)の生育ステージ別に、液肥の溶液濃度が異なる3種類の処理区を設け、週1回、150～200ml/株を頭上から施用した。鉢用土は調査1と同じものを使用し、苗はステージ毎に新しい株を供試、施肥濃度の違いが生育に及ぼす影響を調べた。

【成果の概要】

調査1 両培養土区とも馴化率は96.7%と高かった。メトロミックス350区は展開葉数、葉長、葉幅、葉色、生育の揃いなどに優れ、セル移植2ヶ後には育苗ポットへ鉢上げできる大きさに育った(表1)。今回、通常の管理で高率に馴化苗が確保され、‘系統3’は、幼苗期から強い性質を備えている。

調査2 ‘系統3’は育苗ポットが大きくなると大株傾向になり、葉が大きく、苗にしまりを欠いた(表2)。これまでの調査から、‘系統3’は株をコンパクトに仕上げることで花卉とのバランスが保たれることがわかっている(平成13年)。このため、育苗には葉を小さく、苗をしめてつくれる2.5号ポットの使用が望ましい。

調査3 春は、窒素：リン酸：カリの各50ppm区が葉枚数、株張り、株高、葉色のいずれにも優れた(表3)。同じことは夏の管理でも認められた(表4)。また、秋冬の管理では、窒素：リン酸：カリ＝100ppm：300ppm：200ppm区が株張り、株高、葉色に優れ、葉枚数を数多く確保できた(表5)。

このように、今回の調査から、‘系統3’は春と夏の管理では窒素：リン酸：カリの各50ppm液を150ml/株、また、秋冬の管理では、窒素：リン酸：カリ＝100ppm：300ppm：200ppmを200ml/株を施用することで順調に生育することがわかった。

表1 培養土の違いが「系統3」の馴化苗率および生育に及ぼす影響

	馴化苗率 (%)	葉枚数 (枚)±SD	葉柄長 (cm)±SD	葉長 (mm)±SD	葉幅 (mm)±SD	葉色 (SPAD値)
メトロミックス350区	96.7	5.1±1.1	5.1±0.7	27.6±2.0	30.0±2.6	47.6
プロミックスBX区	96.7	4.2±1.1	4.7±0.7	26.7±4.6	26.1±4.6	41.0

- 1) 調査 : 12月25日
 2) 98穴セルトレイへの移植 : 10月25日
 3) 供試数 : 90株/処理

表2 育苗ポットの大きさの違いが「系統3」の生育に及ぼす影響

ポットの大きさ	葉枚数 (枚)	主芽・副芽数 (本)	株張り (cm)	株高 (cm)	葉長 (cm)±SD	葉幅 (cm)±SD
2.5号ポット区	6.4	3.8	11.0	4.5	4.9±1.1	5.8±0.8
3号ポット区	7.0	3.6	11.4	4.8	5.1±1.0	5.8±0.9
3.5号ポット区	7.0	3.7	12.3	5.1	5.6±1.1	6.6±0.8

- 1) 調査 : 7月16日
 2) 供試数 : 20株/処理

表3 施肥濃度の違いが「系統3」の春期の生育に及ぼす影響

施肥区	葉枚数 (枚)	主芽・副芽数 (本)	株張り (cm)	株高 (cm)	葉色 (SPAD値)
12.5-12.5-12.5ppm区	5.5	1.7	12.0	4.4	37.3
25-25-25ppm区	5.8	2.6	11.2	4.7	38.5
50-50-50ppm区	7.0	4.1	11.7	5.0	48.1

- 1) 調査 : 7月16日
 2) 栽培期間 : 5月29日~7月16日
 3) 供試数 : 20株(3号ポット)/処理
 4) 供試肥料 : ハイポネックスプロフェッショナル(20-20-20)

表4 施肥濃度の違いが「系統3」の夏期の生育に及ぼす影響

施肥区	葉枚数 (枚)	開花数 (本)	株張り (cm)	株高 (cm)	葉色 (SPAD値)
12.5-12.5-12.5ppm区	11.7	0.9	20.0	6.8	38.9
25-25-25ppm区	17.6	0.6	20.5	7.8	40.9
50-50-50ppm区	17.8	0.9	23.4	7.5	48.1

- 1) 調査 : 9月21日
 2) 栽培期間 : 7月16日~9月21日
 3) 供試数 : 20株(5号プラ鉢)/処理
 4) 供試肥料 : ハイポネックスプロフェッショナル(20-20-20)

表5 施肥濃度の違いが「系統3」の秋冬期の生育に及ぼす影響

施肥区	葉枚数 (枚)	株張り (cm)	株高 (cm)	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	開花数 (輪)	葉色 (SPAD値)
25-75-50ppm区	28.4	25.0	7.6	7.4	9.2	15.6	40.8
50-150-100ppm区	31.1	26.3	8.1	8.0	10.0	13.3	56.1
100-300-200ppm区	40.8	27.5	8.9	8.8	10.2	12.9	67.0

- 1) 調査 : 12月3日
 2) 栽培期間 : 9月21日~12月3日
 3) 供試数 : 20株(5号プラ鉢)/処理
 4) 供試肥料 : ハイポネックスプロフェッショナル(10-30-20)